

**肝臓部門** : 現在国民病の一つに位置づけられている C 型慢性肝炎への取り組みについて紹介する。C 型慢性肝炎は、C 型肝炎ウイルスの感染をきっかけとして、鉄代謝異常、糖代謝異常等を引き起こし、これらの代謝異常をベースとした酸化ストレスによって進行する病態がその本体であることが分かってきた。したがって、その治療に当たっては、抗ウイルス薬、肝庇護剤、除鉄を目的とした瀉血、鉄制限食、カロリーコントロール、運動等の集学的治療が、より大きな効果につながる。当施設は、これら治療の中で、瀉血、鉄制限食療法の開発、確立に当初より積極的に参加し、瀉血療法の保険適応のベースになる多施設共同研究にも加わり、鉄制限療法は当院のオリジナルである。このようなアプローチは、従来の臨床医学領域になかった新しいフロンティアであり、若い力の参加によって、より大きな成果が期待できる。平成 21 年予定の「第 33 回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会」においては、会長施設としてその開催に向けて積極的に取り組んでいる。国内外の学会、論文発表も活発に行っており、このような学術活動への病院のサポートも充実している。

## 2009 年第 33 回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会会長施設：玉野市民病院から

### 若い活力ある Dr.へ

## “ **新たなフロンティアへのチャレンジ** ”

### 慢性 C 型肝炎の瀉血療法の普及・鉄制限療法の開発・E-CAP（選択的赤血球除去療法）の開発等に関わって

これら一連の治療法への取り組みは、1995 年慢性 C 型肝炎に対する瀉血療法の開発者の林久男先生（現愛知学院大学薬学部教授）との出会いに始まります。

（American Journal of Gastroenterology 89:986-988, 1994）

我々は、鉄と貧血、鉄と発癌の関係に従来から興味をもって研究に携わって来た関係上、この出会いのインパクトは非常に大きく、早速、慢性 C 型肝炎の患者さんに対して、瀉血療法を試みると同時に、その効果が瀉血を介した体内貯蔵鉄の除去にあるとすれば、本来その鉄が経口的に摂取された鉄に由来することを考慮すると、鉄制限療法の有効性は、容易に予想されることとなります。その仮説から、瀉血療法と並行して、我々は鉄制限療法の確立とその有効性の確認に取り組みました。その有効性は、学術集会等で報告すると同時に、論文等にもまとめその一部を主要業績集として本ホームページにも掲載しております。こうして確立された**鉄制限療法**及び瀉血療法を肝硬変にも応用可能な

形に進化させた**選択的赤血球除去療法 (E-CAP)** は、我々のオリジナルであります。

2001年のDDWにおいては、瀉血療法と鉄制限療法が慢性C型肝炎の推奨されるべき治療法に位置づけられました。

2006年4月には、我々も参加して実施された多施設共同研究の成果をベースとして、**瀉血療法が保健収載**されました。

慢性C型肝炎に対するこういった鉄除去療法の応用がきっかけとなって、その後、多くの疾患における鉄の役割の重要性とその治療への応用が試みられ、多くの成果をあげてきています。

慢性C型肝炎のような身近にある疾患において、身近な金属栄養素の代表である鉄が炎症・発癌に大きな影響を与えていることが明らかとなりました。

さらに、糖尿病といった代謝領域・アルツハイマーやパーキンソンといった神経領域においても重要な働きをしている金属であることが判明してきています。

そして、従来極限られた症例にしかほとんど応用されることの無かった瀉血療法、また、それを進化させた**E-CAP**、さらに食事中の鉄を制限する鉄制限療法といった治療法が開発され、新たな治療領域を開拓し始めました。この領域は医学領域においてはフロンティアであります。

我々は、玉野市民病院において、チーム医療を積極的に展開していますが、平行して日本のみならず、世界で活躍されているこの領域の先生方と協力して治療法の開発や疾患の研究にも携わっています。

若いDr.の皆さん、このフロンティアに対して一緒にチャレンジしてみませんか。謙虚で、健康で、協調性に富んだ若い活力ある先生の連絡を待っております。

当院は、この領域の日本のエキスパートが参加している2009年の第33回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会（会長：木村文昭）(<http://jbis.sub.jp/fe/02-33/>)の主催病院でもあります。

本学会は、2007年4月京都国際会館で国際鉄バイオ学会学術集会(<http://jbis.sub.jp/fe/03-02/0023.html>)を三十数カ国の研究者450名余りを集めて内閣府日本学術会議(<http://www.sci.go.jp/>)と一緒に開催させていただきました。さらに、2008年の2月には東京で、そのポストシンポジウム(<http://jbis.sub.jp/fe/03-00/>)と並行して、鉄と健康についての情報を広く市民の方々に知っていただくための市民公開講座：『鉄と上手に付き合って健康に』(<http://jbis.sub.jp/fe/04-01/0059.html>)をやはり内閣府日本学術会議、厚生労働省科学研究費補助金「難治性造血障害研究班」3者の共同主催と共催で開催させていただきました。このような活動を積極的に行

うことにより、鉄というありふれた金属栄養素が、実は我々の健康にとって非常に大切なことを皆様にご存知いただくチャンスをつくれるものと考えております。

## 鉄制限・瀉血・選択的赤血球除去療法（E-CAP）関連主要業績

### 1、Progress in Medicine 1999;19:1535-1537

鉄摂取制限療法で Transaminase の良好なコントロールが可能であった慢性 C 型肝炎の 5 例

木村文昭、他

本論文は、慢性 C 型肝炎に対して鉄制限療法の応用を報告した最初の報告です。

### 2、Hepatology 32:552A, 2000

A pilot study of low iron diet for maintenance therapy after phlebotomy in chronic hepatitis C.

F. Kimura, et al.

本報告は、瀉血療法後の維持療法に鉄制限療法が有効であるとの最初の報告です。

### 3、J Gastroenterol 39:570-574, 2004

Yano M., Hayashi H., Yoshioka K., Kohgo Y., Saito H., Niitsu Y., Kato J., Iino S., Yotsuyanagi H., Kobayashi Y., Kawamura K., Kakumu S., Kaito M., Ikoma J., Wakusawa S., Okanoue T., Sumida Y., Kimura F., Kajiwara E., Sata M., Ogata K.  
A significant reduction in serum alanine aminotransferase levels after 3-month iron reduction therapy for chronic hepatitis C: a multicenter, prospective, randomized, controlled trial in Japan

本報告をベースとして、瀉血療法が慢性 C 型肝炎の治療法として保健収載されました。

## 平成 16 年（2004 年）

### 学会発表

1) 平成 16 年 6 月 4 日

第 40 回日本肝臓病学会総会

演題 鉄の食品交換表を用いた鉄摂取制限療法の確立と慢性 C 型肝炎への応用

玉野市民病院内科：木村文昭、福田智子、横田 聡、山原茂裕、深田耕史、三島康男、栄

養科：佐原亜衣、看護科：林真弓、朝子公恵、姫路聖マリア病院内科：松村 正、岡山大学第2内科 木村郁郎

2) 平成16年9月11日

第28回日本鉄バイオサイエンス学会

演題 鉄の食品交換表の作成とこれを用いた鉄摂取制限療法の確立と慢性C型肝炎への応用

玉野市民病院栄養科：佐原亜衣、内科：木村文昭、重戸伸幸、福田智子、横田 聡、山原茂裕、深田耕史、三島康男、看護科：林真弓、朝子公恵

## 論文

1) C型慢性肝炎における鉄毒性と除鉄治療

第2部 臨床の部

6 瀉血と鉄制限食の併用治療

木村文昭、松村正、木村郁郎

日本バイオサイエンス学会編 医薬ジャーナル社 Page150~163 2004年10月30日初版

本単行本は、C型肝炎における鉄毒性と瀉血・鉄制限等の治療への応用についての日本のエキスパートが参加して書き上げたレベルの高い一冊です。

2) 慢性C型肝炎の食事療法

一鉄の食品交換表を用いた鉄摂取制限療法を中心に一

木村文昭、佐原亜衣、中山恵子、今井弘子、林 真弓、朝子公恵、山根史江、松村 正、福田智子、横田 聡、山原茂裕、深田耕史、原田淳一、三島康男、林 久男、谷本光音、木村郁郎

MINOPHAGEN MEDICAL REVIEW Vol. 49, No. 5, 2004, 310-335

本論文は、鉄 6mg・適正なカロリー・他の栄養素のバランス良い摂取の3つの目標を可能とする食事療法であり、今後の慢性肝疾患のみならず、鉄の関与する生活習慣病全般（NASHを代表とする）の食事療法の一つのモデルであります。

慢性C型肝炎における鉄摂取量の目標を6mg/日（第5訂日本食品成分表ベース）に設定したのは、我々が最初であり、現在、広くこの目標値が使用されています。

3) 慢性C型肝炎に対する瀉血療法の実際と看護師のかかわり

木村文昭、福田智子、横田 聡、山原茂裕、深田耕史、三島康男、朝子公恵、林 真弓、原田悦子、畑島紀子、村上光江、佐原亜衣、西原孝子、浜谷優行

平成 17 年 (2005 年)

学会発表

1) 平成 17 年 1 月 8 日 第 8 回日本病態栄養学会年次学術集会

鉄の食品交換表の作成と慢性C型肝炎の鉄制限療法への応用

木村文昭, 佐原亜衣, 松村正, 重戸伸幸, 福田智子, 山原茂裕, 深田耕史, 三島康男, 谷本光音, 木村郁郎

2) 平成 17 年 5 月 25 日 Bioiron 2005 in Praque

ESTABLISHMENT OF FOOD EXCHANGE LISTS FOR IRON AND ITS APPLICATION TO IRON REDUCTION THERAPY FOR PATIENTS WITH CHRONIC HEPATITIS C

Fumiaki Kimura, Ai Sahara, Tadashi Matsumura, Tomoko Fukuda, Nobuyuki Shigeto, Shigehiro Yamahara, Fukada Koushi, Yasuo Mishima, Mitsune Tanimoto, Ikuro Kimura

3) 平成 17 年 9 月 10 日 第 29 回日本鉄バイオサイエンス学会

Clinical application of erythrocytapheresis to the patient with liver cirrhosis related to hepatitis C virus

Fumiaki Kimura, Tadashi Matsumura, Nobuyoshi Doi, Mayumi Hayashi, Kimie Asako, Ai Sahara, Nobuyuki Shigeto, Tomoko Fukuda, Shigehiro Yamahara, Koushi Fukada, Yasuo Mishima, Mitsune Tanimoto, and Ikuro Kimura

本報告は、選択的赤血球除去療法 (E-CAP) を C 型肝硬変患者に応用した最初の報告です。

学術論文

Hepatogastroenterology 2005 Mar-Apr, 52(62):563-6

Additional effect of low iron diet on iron reduction therapy by phlebotomy for chronic hepatitis C

Fumiaki Kimura, Hisao Hayashi, Motoyoshi Yano, Kentaro Yoshioka, Tadashi Matsumura, Tomoko Fukuda, Satoshi Yokota, Shigehiro Yamahara, Fukada Koushi, Jyunichi Harada, Tadashi Yoshino, Mitsune Tanimoto, Ikuro Kimura

本論分は、鉄制限療法が瀉血療法の抗炎症効果を強化する治療法であることを最初に報告した論文です。

平成 18 年 (2006 年)

## 学会発表

1) 平成 18 年 7 月 29 日第 26 回日本アフェレシス学会学術集会 大津、琵琶湖ホテル  
ワークショップ<sup>2</sup> 瀉血療法の新たな展開  
C 型肝炎ウイルス由来の慢性肝炎及び肝硬変患者への Erythrocytapheresis の臨床応用の  
試み  
玉野市民病院 内科<sup>1)</sup>、岡山大学 第2内科<sup>2)</sup>  
木村文昭<sup>1)</sup>、三島康男<sup>1)</sup>、重戸伸幸<sup>1)</sup>、黒川和良<sup>1)</sup>、福田智子<sup>1)</sup>、山原茂裕<sup>1)</sup>、深田耕史<sup>1)</sup>、  
浅野哲弘<sup>1)</sup>、辻 淳<sup>1)</sup>、谷本光音<sup>2)</sup>、木村郁郎<sup>2)</sup>

2) 平成 18 年 9 月 16 日第 30 回 日本鉄バイオサイエンス学会  
東京大学弥生講堂・一条ホール  
C 型慢性肝炎及び肝硬変に対する Erythrocytapheresis  
玉野市民病院内科 木村 文昭

## 平成 19 年 (2007 年)

### 学会発表

1) Bioiron 2007 in Kyoto 1-6 April 2007 Kyoto, Japan  
CLINICAL APPLICATION OF ERYTHROCYTAPHERESIS TO THE  
PATIENTS WITH CHRONIC HEPATITIS C VIRUS INFECTION  
Fumiaki Kimura, Tadashi Matsumura, Tomoko Fukuda, Nobuyuki  
Shigeto, Shigehiro Yamahara, Fukada Koushi, Yasuo Mishima, Mitsune  
Tanimoto, Ikuro Kimura

2) 第 93 回日本消化器病学会総会  
平成 19 年 4 月 19 日-21 日  
慢性 C 型肝炎ウイルス感染症への Erythrocytapheresis の応用  
玉野市民病院内科 木村文昭、三島康男、重戸伸幸、黒川和良、福田智子、山原茂裕、深  
田耕史、姫路聖マリア病院 松村 正、岡山大学第 2 内科 谷本光音、木村郁郎

3) 第 97 回日本内科学会中国地方会  
平成 19 年 11 月 17 日  
慢性 C 型肝炎ウイルス感染症への Erythrocytapheresis(E-CAP)の応用  
玉野市民病院内科 木村文昭、重戸伸幸、黒川和良、福田智子、山原茂裕、深田耕史、  
三島康男

## 論文

1) 原著

日本病態栄養学会誌 10(3):287-294, 2007

慢性肝疾患患者の健康食品摂取状況

—多施設(6施設)調査の結果から—

原なぎさ、岩田加寿子、岩佐元雄、垣内雅彦、加藤章信、金野貴子、鈴木亮知、大木智子、小島裕治、太田真由美、久保木真、西 玉枝、木村文昭、佐原亜衣、竹井謙之

2) 原著

総合病院 玉野市立玉野市民病院誌 No. 16. 2007 Page1-8

汎用遠心機を用いた **Erythrocytapheresis** は肝硬変を含めた慢性 C 型肝炎ウイルス感染症患者の除鉄治療の有力候補である

木村文昭<sup>1</sup>、重戸伸幸<sup>1</sup>、森山道彦<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、深田耕史<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、源 寛二<sup>2</sup>、池田敏夫<sup>2</sup>、塩尻加知与<sup>3</sup>、三坂直江<sup>3</sup>、山根史江<sup>3</sup>、正木美恵<sup>3</sup>、石谷真紀<sup>3</sup>、原田悦子<sup>3</sup>、畑島紀子<sup>3</sup>、角南武志<sup>4</sup>、土井信義<sup>4</sup>、三好佐奈美<sup>4</sup>、松村 正<sup>5</sup>、谷本光音<sup>6</sup>、木村郁郎<sup>6</sup>

1 玉野市立玉野市民病院内科、2 同外科、3 同看護科、4 同臨牀検査科、5 姫路聖マリア病院内科、6 岡山大学医学部・歯学部附属病院第2内科

**講演**

第 79 回岡山市立病院研究会（自治体病院研究会）

平成 19 年 12 月 1 日（土）教育講演 木村文昭

慢性 C 型肝炎ウイルス感染症への瀉血、鉄制限療法の応用から **Erythrocytapheresis (E-CAP)** への展開

**座長**

Second Congress of International BioIron Society (BioIron 2007)

**Thursday, April 05, 2007** 01:30 pm - 02:30 pm

Concurrent Session 16: Diagnosis, Imaging (Co-Chairs: Tim St. Pierre, Fumiaki Kimura)

**研究会**

2007 年 1 月 14 日玉野市医師会研究会

慢性 C 型肝炎ウイルス感染症に対する **Erythrocytapheresis(E-CAP)**の試み  
木村文昭、三島康男、重戸伸幸、黒川和良、福田智子、山原茂裕、深田耕史

平成 20 年（2008 年）

## 学会発表

平成 20 年 9 月 13 日

第 32 回日本鉄バイオサイエンス学会

検査用採血・経静脈治療を考慮した瀉血バッグシステムの提案

1 玉野市民病院内科、2 同看護科、3 姫路聖マリア病院内科、4 岡山大学医学部・歯学部付属病院第 2 内科

○ 木村 文昭 1、重戸 伸幸 1、森山 道彦 1、福田 智子 1、山原 茂裕 1、深田 耕史 1、三島 康男 1、塩尻 加知与 2、三坂 直江 2、山根 史江 2、正木 美恵 2、石谷 真紀 2、原田 悦子 2、森国 三千代 2、畑島 紀子 2、松村 正 3、谷本 光音 4、木村 郁郎 4

## 講演

1) 岡山対がんシンポジウム 2008

岡山衛生会館 平成 20 年 5 月 24 日 (土)

テーマ：ウイルス性肝炎と肝がん

肝がん対策としての除鉄治療の意義

玉野市立玉野市民病院 内科医長 木村 文昭

2) 平成 20 年 9 月 4 日

岡山県赤十字血液センター会議室 (2F)

中四国地区赤十字血液センター医薬情報担当者研修会

演題名 肝臓治療の実際：除鉄治療の肝疾患への応用

演者 木村文昭

## 平成 21 年 (2009 年)

### 学会発表

1) 平成 21 年 6 月 4 日 (木)、5 日 (金)

第 45 回日本肝臓学会総会

6 月 4 日 (木) 神戸ポートピアホテル・神戸国際展示場

ポスターセッション 13

C 型肝炎：臨床 10

P-49 瀉血バッグシステム開発と評価

玉野市民病院内科 木村文昭

2) 第 30 回日本アフェレシス学会学術大会 2009 年 9 月 11 日 (金) 京王プラザホテル札幌

瀉血バッグシステム：HK-Phlebobag™ 開発と評価

木村文昭 1、山根史江 2、原田悦子 2、正木美恵 2、重戸伸幸 1、福田智子 1、山原



茂裕<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、谷本光音<sup>3</sup>、木村郁郎<sup>3</sup>

1 玉野市民病院内科、2 玉野市民病院看護科、3 岡山大学医学部・歯学部附属病院第2内科

3) 平成21年9月12日(土)、13日(日) 倉敷市芸文館

第33回日本鉄バイオサイエンス学会学術集9月12日(土)

会長報告

C型肝炎研究からMDSの病態を考える

司会：木村 郁郎（岡山大学医学部・歯学部附属病院 第2内科）

演者：木村 文昭（玉野市立玉野市民病院 内科）

4) JBIS・岡山県栄養士会合同セミナー

鉄制限食の特徴と注意点、及び肝疾患食事療法

佐原 亜衣（玉野市立玉野市民病院 栄養科）、木村文昭

5) 一般演題 10

瀉血バッグシステム：HK-Phlebobag<sup>TM</sup> 開発と評価

演者：山根 史江（玉野市立玉野市民病院 看護科）

6) 第71回日本血液学会学術集会 2009年10月23日

瀉血バッグシステムの開発と評価 ポスター

木村文昭<sup>1</sup>、重戸伸幸<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、松村 正<sup>2</sup>、谷本光音<sup>3</sup>、木村郁郎<sup>3</sup>

1 玉野市民病院内科、2 姫路聖マリア病院、3 岡山大学医学部・歯学部附属病院第2内科

7) 第101回日本内科学会中国地方会 2009年11月14日(土) 広島国際会議場

瀉血バッグシステム：HK-Phlebobag<sup>TM</sup> 開発、その特徴と評価

木村文昭<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、重戸伸幸<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、山根史江<sup>2</sup>、正木美恵<sup>2</sup>、原田悦子<sup>2</sup>、谷本光音<sup>3</sup>、木村郁郎<sup>3</sup>

1 玉野市民病院内科、2 玉野市民病院看護科、3 岡山大学医学部・歯学部附属病院第2内科

#### 講演

平成21年3月16日

第6回 岡山東地区プライマリケア懇話会

ホテルオークラ岡山本館2階金の間

講演 慢性肝疾患における除鉄治療の進歩

玉野市民病院 内科医長 木村文昭

## 平成 22 年 (2010 年)

### 学会発表

第 13 回日本病態栄養学会年次学術集会 2010 年 1 月 9 日(土曜日)・10 日(日曜日) 国立京都国際会館

一般演題 口演 0-154 演題 除鉄治療への肉摂取の影響の検討  
玉野市立玉野市民病院 栄養科 佐原 亜衣、木村文昭、他

### 論文

1) 日本医師会雑誌 第 139 巻 第 2 号 平成 22 年 5 月

特集 鉄過剰症—その病態と治療

瀉血療法

木村文昭 谷本光音

2) 日本内科学会雑誌 第 9 巻 第 6 号 2010 年 6 月 10 日

P117-135 座談会 鉄欠乏性貧血と鉄過剰症の治療

司会 秋田大学第三内科 澤田賢一  
旭川医科大学第三内科 生田克哉  
玉野市民病院内科 木村文昭  
森田医院 森田 潔  
秋田大学第三内科 奈良美保

3) Patients with chronic hepatitis C may be more sensitive to iron hepatotoxicity than patients with HFE-hemochromatosis.

**Hayashi H**, Piperno A, Tomosugi N, Hayashi K, **Kimura F**, Wakusawa S, Yano M, Tatsumi Y, Hattori A, Pelucchi S, Katano Y, Goto H.

Intern Med. 2010;49(22):2371-7. Epub 2010 Nov 15.

### 講演

1) 第 34 回備後血液疾患研究会 2010 年 3 月 12 日 福山ニューキャッスルホテル  
特別講演 C 型肝炎における鉄毒性とその対策から MDS の病態を考える

演者 木村文昭

2) 平成 22 年 6 月 19 日 (土)

玉野市民公開講座

玉野地区肝炎公開講座

教育講演 肝炎治療における生活管理のポイント

玉野市民病院 内科 木村文昭

#### 座長

第13回日本病態栄養学会年次学術集会 2010年1月9日(土曜日)・10日(日曜日) 国立京都国際会館

座長 一般演題 26 肝胆膵疾患(3) 第2日目 1月10日(日) 10:50~11:50 第6会場 (Room B-2)

#### 研究会

第25回玉野市臨床研究会 2010年1月17日(日) ダイアモンド瀬戸内マリンホテル  
瀉血バッグシステム: HK-Phlebobag™ 開発と評価

木村文昭<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、重戸伸幸<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、深田耕史<sup>1</sup>、山根史江<sup>2</sup>、正木美恵<sup>2</sup>、原田悦子<sup>2</sup>、依田智美<sup>2</sup>、津国由美<sup>2</sup>、矢野カネ子<sup>2</sup>、仲前澄江<sup>2</sup>、谷本光音<sup>3</sup>、木村郁郎<sup>3</sup>

1 玉野市民病院内科、2 玉野市民病院看護科、3 岡山大学医学部・歯学部附属病院第2内科

#### 平成23年(2011年)

##### 学会発表

1) 平成23年9月11日

日本鉄バイオサイエンス学会学術集会

一般演題 C型慢性肝炎、肝硬変に対する Erythrocytapheresis の検討

木村文昭<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、重人伸幸<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、湯浅一郎<sup>2</sup>、源 寛二<sup>2</sup>、池田敏夫<sup>2</sup>、佐原亜衣<sup>3</sup>、松村正<sup>4</sup>、谷本光音<sup>5</sup> (玉野市民病院1内科、2外科、3栄養科、4姫路聖マリア病院、5岡山大学第2内科)

2) 平成23年10月20日

DDW Japan 2011 福岡

肝臓学会ポスターセッション

肝 P-237 C型肝硬変への Erythrocytapheresis の有効性の検討

木村文昭<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、重戸伸幸<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、源 寛司<sup>2</sup>、池田敏夫<sup>2</sup>、谷本光音<sup>3</sup>

1 玉野市民病院内科、2 玉野市民病院外科、3 岡山大学医学部・歯学部附属病院第2内科

3) 平成23年11月12日(土)

第 105 回日本内科学会中国地方会 米子コンベンションセンター

演題番号 142 慢性 C 型肝炎の鉄制限療法では動物性蛋白への配慮が必要である

木村文昭<sup>1</sup>、重戸伸幸<sup>1</sup>、福田智子<sup>1</sup>、山原茂裕<sup>1</sup>、三島康男<sup>1</sup>、佐原亜衣<sup>2</sup>、藤井伸治<sup>3</sup>、谷本光音<sup>3</sup>

1 玉野市民病院内科、2 玉野市民病院栄養科、3 岡山大学医学部・歯学部附属病院第 2 内科

#### 講演

1) 平成 23 年 9 月 1 日 ホテル日航倉敷

第 16 回内科外来診療を考える会

講演 日常診療における肝炎の診方・考え方

玉野市民病院 内科医長 木村文昭

2) 平成 23 年 11 月 17 日(木) 岡山市灘崎文化センター 2F 第一研修室

北児島医師会学術講演会

講演 高齢者の C 型肝炎硬変・肝がん対策について

講師 玉野市立玉野市民病院 副院長 木村文昭

#### 平成 24 年 (2012 年)

##### 学会発表

1) 平成 24 年 1 月 15 日(日) 国立京都国際会館

第 15 回日本病態栄養学会年次学術集会

一般演題「亜鉛含有製剤のみの中止で改善を認めた鉄欠乏性貧血の 1 例」

佐原亜衣<sup>1</sup>、木村文昭<sup>2</sup>、重人伸幸<sup>2</sup>、福田智子<sup>2</sup>、山原茂裕<sup>2</sup>、三島康男<sup>2</sup>、松村正<sup>3</sup>、藤井伸治<sup>4</sup>、谷本光音<sup>4</sup> (玉野市民病院<sup>1</sup> 栄養科、<sup>2</sup> 内科、<sup>3</sup> 姫路聖マリア病院、<sup>4</sup> 岡山大学医学部第 2 内科)

2) 平成 24 年 11 月 3, 4 日 岡山コンベンションセンター

平成 24 年度日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第 45 回)

「亜鉛含有製剤の中止で改善が得られた銅欠乏性貧血の 1 例」

土居信義<sup>1</sup>、三好佐奈美<sup>1</sup>、谷純代<sup>1</sup>、角南武志<sup>1</sup>、三宅麻理子<sup>1</sup>、木村文昭<sup>2</sup>、三島康男<sup>2</sup>、佐原亜衣<sup>3</sup> (<sup>1</sup>玉野市民病院 臨床検査科、<sup>2</sup>玉野市民病院 内科、<sup>3</sup>玉野市民病院 栄養科)

3) 平成 24 年 9 月 1, 2 日 京王プラザホテル札幌

第 36 回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会

「食道癌における除鉄による遊走、浸潤能抑制作用の検討」

浦野真一<sup>1</sup>、大原利章<sup>1</sup>、前田直見<sup>1</sup>、渡辺伸一郎<sup>1</sup>、田辺俊介<sup>1</sup>、野間和弘<sup>1</sup>、

友野靖子<sup>2</sup>、白川康博<sup>1</sup>、木村文昭<sup>3</sup>、藤原俊義<sup>1</sup>

1. 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 消化器外科、2. 重井医学研究所

2. 玉野市立玉野市民病院 内科

#### 講演

1) 平成 24 年 5 月 11 日(金) アークホテル岡山

生活習慣病勉強会

特別講演「鉄代謝研究の進歩：肝炎～肝癌病態への関与と治療への応用」

玉野市民病院 病院長 木村文昭

#### 論文

1) 平成 23 年 3 月 31 日 株式会社響文社発行

C型慢性肝炎に対する瀉血マニュアル 2012

「Chapter04 瀉血の実際」

木村文昭、藤井伸治、谷本光音

その他、日本肝臓病学会、日本消化器病学会、日本病態栄養学会、日本臨床血液学会、日本鉄バイオサイエンス学会等の学術集会での報告多数、かつ、毎年学術集会発表を続けています。